

会 務 報 告

1. 昭和63年2月17日, 第7回常任理事会・監事会

- 1) 昭和62年度庶務, 企画, 編集, 決算報告および昭和63年度予算書が審議のうえ, 承認された。
- 2) 昭和62年度総会および第6回学術大会の概要が承認された。
- 3) 歯学会新役員案(昭和63年4月より)が承認された。

東日本学園大学歯学会 昭和62年度 会計報告書

(昭和62年1月1日～昭和62年12月31日) (単位: 円)

収 入 の 部				
科 目	予 算 額		決 算 額	
会 費	3,669,000		3,223,000	
継続会員				
正会員 5,000	200人	1,000,000	202人	1,010,000
準会員 3,000	23人	69,000	16人	48,000
賛助会員 30,000	26人	780,000	20人	600,000
新規会員				
新卒者 5,000×3年	120人	1,800,000	98人	1,470,000
その他 5,000×3年			5人	75,000
5,000	4人	20,000	4人	20,000
入 会 金 3,000	4人	12,000	4人	12,000
バックナンバー分与収入	0		21,000	
広 告 料	30件	450,000	30件	607,500
別 刷 超 過 料	40,000		26,150	
受 取 利 息	50,000		56,814	
前 年 度 繰 越 金	2,508,255		2,508,255	
合 計	6,729,255		6,454,719	

支 出 の 部		
科 目	予 算 額	決 算 額
学 会 開 催 費	440,000	166,480
(研究発表会開催費)	(40,000)	(61,400)
(招待講演会等補助金)	(400,000)	(105,080)
印 刷 費	2,700,000	2,235,100
謝 礼 費	400,000	272,500
通 信 費	100,000	71,430
備 品 費	200,000	22,320
事 務 用 品 費	50,000	275,687
会 議 費	50,000	36,000
デンタルトビックス補助金 (61. 62年度)	500,000	500,000
雑 費	50,000	285
仮 払 金	0	56,100
予 備 費	300,000	0
次 年 度 繰 越 金	1,939,255	2,818,817
合 計	6,729,255	6,454,719

本年度会計報告は, 帳簿等関係諸表調査の結果相違ないことを認めます。

昭和63年2月22日

会計監事 市田 篤 郎
会計監事 結 城 重 之

2. 昭和63年2月24日, 理事会

- 1) 昭和62年度会務報告と昭和63年度予算書が報告され, 承認された。
- 2) 歯学会新役員案が報告され, 承認された。
3. 昭和63年2月27日, 昭和62年度総会および第6回学術大会(薬学部大講義室で開催, 口腔生化学講座・歯科薬理学講座担当)

1) 日程

9:30-12:00, 13:00-16:50 学術大会
(教育講演1題, 一般演題35題)
12:00-12:30 評議員会
12:30-13:00 総会

東日本学園大学歯学会 昭和63年度 予算書

(昭和63年1月1日～昭和63年12月31日)

(単位: 円)

収 入 の 部 (円)	
会 費	4,019,000
継続会員	
正会員 270人分×5,000	1,350,000
準会員 23人分×3,000	69,000
賛助会員 26人分×30,000	780,000
新規会員	
新卒者 120人分×5,000×3年	1,800,000
その他 4人分×5,000	20,000
入 会 金 4人分×3,000	12,000
広 告 料 30件	450,000
受 取 利 息	50,000
別 刷 料	30,000
前 年 度 繰 越 金	2,818,817
合 計 (円)	7,379,817

支 出 の 部 (円)	
学 会 開 催 費	440,000
(学術講演会開催費)	(40,000)
(招待講演会等補助金)	(400,000)
印 刷 費	2,700,000
謝 礼 費	400,000
通 信 費	100,000
備 品 費	200,000
事 務 用 品 費	200,000
会 議 費	50,000
デンタルトビックス補助費(63年度)	300,000
雑 費	50,000
予 備 費	100,000
次 年 度 繰 越 金	2,839,817
合 計 (円)	7,379,817

2) 評議員会、総会では、専務理事から昭和62年度庶務、企画、編集、会計報告があり、それぞれ承認された。

3) 会員状況

会員総数 672名(昭和62年12月31日現在)

内訳：正会員618名、準会員23名、賛助会員27名、
名誉会員4名

会員動向：新入正会員129名、退会会員4名

4) 昭和62年度決算報告、同監査報告および昭和63年度予算書(別表)が承認された。

5) 歯学会新役員が承認された。

会 長	富田 喜内
専務理事	奥山 富三
常任理事(庶務担当)	矢嶋 俊彦, 平井 敏博
(会計担当)	武田 正子, 上田 五男
(編集担当)	松本 仁人, 金子 昌幸
	馬場 久衛
(企画担当)	金澤 正昭, 小鷲 悠典

監 事 結城 重之, 市田 篤郎

編集委員会 松本 仁人(委員長), 金子 昌幸,
馬場 久衛, 村瀬 博文, 五十嵐
清治, 坂口 邦彦, 武田 正子

新評議員 川上 智史, 藤井 健男

6) 学術大会では、教育講演「シミュレーション教育について」と35題の研究発表がなされ、質疑応答も活発で盛会裡に終了した。

4. 特別講演会

①「歯科材料……基礎研究から臨床応用へ」

E.H.Greener教授

(シカゴ・ノースウエスタン大学歯学部生体材料学)

昭和63年4月5日, P-1 講堂

②「アメリカにおける歯周治療学について」

D.F.Adams教授

(オレゴン・ヘルスサイエンス大学歯学部歯周治療学)

昭和63年4月26日, P-1 講堂